

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3年 3月 1日

事業所名 リレーション

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			配置数は適切であるが男性スタッフ増加が必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差がほとんどなく、トイレ入り口も広く	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議以外での毎朝申し送りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者によるものではなく、社内での評価を行っている。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内、社外での研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時に保護者、利用者のニーズを聞き取り個別支援計画を	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを作成しそれを基に利用者の状況の把握を行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの担当者を決め行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		会議等でプログラム案を出し合っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者のニーズ特性に応じて取り組ん	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		自由活動、プログラム活動での区別かをしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、申し送りをし予定を決めている。	状況変化による臨機応変の改善が必要
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			退勤事情により打ち合わせが行えないスタッフには翌日に共有を行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、記録物を行い、気になる児童に対し話し合いを行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		スタッフ全体の意見を取り入れモニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		スタッフが周知をし取り組んでいる	まだ、理解が乏しいスタッフに対し周知が必要	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議を行い利用者に応じて寄り添いが多いスタッフの意見を取り入れている。	コロナ過で保護者様の参加が難しい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		利用者の担当教員を把握をし学校の年間スケジュールを確認を行っている。	コロナ過で中々訪問が難しい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		対象児童がいなく行った事はないが、ご希望があれば対応をさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		対象児童がいなくまだ行った事がない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		専門機関の連携は行っていないのが現状であるが研修等は積極的に参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ過もあり、上手く交流は行えていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		定期的に参加を行っている。	
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳以外でも送迎時に一日の様子気になる事を共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアレント・トレーニングは行えていないが保護者様のご意見は随時聞き入れている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		いつでも、ご相談は受け付けており、ご要望があれば面談も行っていく。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ過もあり、実施は行えていないが、今後実施をしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		管理者が中心に行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月お便りを作成し配布を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		保管書庫を整え管理を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		スタッフ、保護者様の意見をすり合わせ情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域イベントは出来るだけ参加を行っている。	自社事業所からのイベントを考案していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルを作成し周知を行っている。	定期的な訓練を行っていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に研修機会を作っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	保護者様に説明を行い納得をしてもらいサービス計画に記載をさせていただいております	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時に確認を行い、スタッフ全体に周知を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	記録をしっかりと記入し、会議等で事例をあげ共有を行っている	